

広国ドリル「国語」の学習について

健康科学部 医療福祉学科 杉本 巧

合格おめでとうございます。

私は、主に1年次生対象の日本語やコミュニケーションに関する科目を担当しています。今回は、広国ドリル「国語」の学習について簡単に説明します。

広国ドリル「国語」は、これまで学んだ国語の復習が主な内容です。大学入試が終わって解放感に浸っている人も多いでしょうが、今持っている国語の力を落とさずに、大学に入学しましょう。もし、国語の力に自信がなければ、今より少しでも力をつけて、大学に入学しましょう。

大学に入学してすぐに始まる「日本語リテラシー」という授業では、大学の学修に必要な読み書きの技術を学びます。授業内容は、高校までの国語の力が身につけていることを前提にしています。広国ドリル「国語」では、みなさんの国語の基礎力をもう一度確認して、足りない部分の復習をすることができます。

国語で◎に指定されている分野は、「漢字の読み、書き」「熟語」「文法」です。入学者全員(もちろんあなたも)、**各分野の「実力診断テスト」で100点**を目指して必ず取り組みましょう！

進め方は自由ですが、まず、実力診断テストに挑戦してみましょう。各分野のテストは、6問から10問です。**すべての分野で100点がとれたら、国語の入学準備はひとまず完了**です。

もし100点がとれない分野があったら、まずテストの解答と解説を確認してください。そして、その分野の「学習のポイント」でポイントを確認し、「ドリルを始める」で練習用のドリルに取り組みましょう。ドリルが完了したら、もう一度(何度でも)テストに挑戦してください。

すべての◎の分野が終わったら、○の分野にも取り組んでみましょう。○の分野にも「敬語」など、大学での学修だけでなく、今後の生活にも役立つ内容が満載です。

広国ドリル「国語」については、今後5回に分けて、以下のポイントを解説します。気楽に読める内容ですので、入学準備の合間に読んでみてください。

- その1: 漢字を正しく使うコツ
- その2: 熟語の意味を覚えるコツ
- その3: 文を分解するコツ
- その4: 語句や文をつなげるコツ
- その5: 敬語を使いこなすコツ



大学での学生生活を有意義な時間にするために、今できる準備をしっかりとっておきましょう。それでは、4月にみなさんにお会いできること楽しみにしております。